佐志岳（南部中学校通信）Ｎｏ．１９

前へ☆　周りへ☆　発信！

学校教育目標　「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」
校　　訓　「自主・責任・規律・親和」　Ｒ５．１１．２７発行　文責　校長　本多　博

伝えよう！いのちのつながり「家族の絆」で平戸市長賞を受賞しました

「伝えよう！いのちのつながり『家族の絆』」の応募作品の中から、宮木結さんのエッセイ「いのち」が「平戸市長賞」に選ばれました。

この大会は、いのちのつながりや家族のきずなをテーマに、詩や作文を募集したもので、今年度は933通の応募がありました。

宮木さんの作品を掲載していますので、各ご家庭でも命について考えるきっかけにしてください。

いのち

南部中学校3年　宮木　結

私が生まれるとき、私の母は結核になってしまいました。
薬を毎日飲んで、写真を見てもとても辛そうでした。
しかし、母は諦めず、元気な赤ちゃんとして私を生んでくれました 。
私はその話を聞いた時、とても感謝しました。
母の強い気持ちのおかげで、私は今元気よく生きていることを知ったからです。
私のたったひとつの命を守ってくれ、大きく育ててくれたのは両親です。
恥ずかしくて言えないときもあったけど、どんな時でも、「生んでくれてありがとう。」
「育ててくれてありがとう。」と言いたいです。
今の私は、その頃の記憶はありませんが、母が入院している間、兄が二人もいる中で、一番小さくて、わがままな私のお世話をしてくれていたのが父でした。
今の父や母を見ると、とてもたくましく私にとって、一番の存在です。
両親が、一番私の命を大切にしてくれていると感じました。
そんな両親のためにも、ここまで育ててくれた自分の命を大切にし、無駄にしないように精一杯生きていきます。